

'98ミラージュカップ・東北シリーズ CMSC 仙台 高橋しげる選手、開幕以来の全戦ポール・トゥ・ウィンでシリーズチャンピオンに! 史上初



史上初、開幕以来全戦ポール・トゥ・ウィンの快挙達成の高橋選手の走りど、表彰台での喜びのバンザイ。

10月24日(土)・25日(日)、『98ミラージュカップ・東北シリーズ最終戦が宮城県「スポーツランドSUGO」で開催されました。参加・予選出走は28台、決勝は27台。決勝当日の天候は晴れ。朝から大勢の観衆が詰めかけ、熱気に包まれる中での開催となりました。

注目はCMSC仙台の高橋しげる選手。開幕以来4戦連続でポール・トゥ・ウィンという圧倒的な強さを見せてきました。ミラージュカップ・シリーズ史上初の全勝、しかも5戦連続のポール・トゥ・ウィンが達成される瞬間は刻一刻と近づいていました。高橋選手は予選で唯一人コースレコードを記録し、ポール・トゥ・ウィンの第一条件をクリア。2番グリッドはCMSC山形のエド・ムラサキ選手で、虎視眈々と5連勝阻止を狙っていました。

決勝は両選手ともまずまずスタート。激しいトップ争いが展開されましたが、後半に入ると、高橋選手がエド・ムラサキ選手を1秒、2秒と引き離し、やがて独走状態に入ります。そしてついに、その瞬間はやって来ました。

レース後高橋選手は、「うれしい! やりました。緊張しましたが、スタートでうまくエド・ムラサキ選手を抑えることができたのが勝因です。後半差が開いたのは、相手(エド・ムラサキ選手)のペースが落ちてきたからです。パーフェクトを意識したのは残り3周くらいからです。とても一人ではできないことです。周りの皆さんに感謝しています。」とのコメント。場内アナウンスも、ファイナルラップの最終コーナーの立ち上がりでは「もう大丈夫だ。パーフェクトウイン達成だ!」とヒートアップ。史上初の開幕から5戦全勝、全戦ポール・トゥ・ウィンという快挙。初のシリーズチャンピオンをパーフェクトウインで締めくくりました。

高橋しげる選手からのコメント

昨シーズンは、最終戦までもつれ込んだ総合優勝が獲得できず非常に残念な年だっただけに、今シーズンは第1戦から気合いを入れて臨みました。たくさんの方々の応援と期待もあり、5戦すべてをポール・トゥ・ウィンという東北シリーズ初の、そして最高の成績で無事終了することができました。1999年のシーズンはこれ以上の成績(?)を目指し頑張りたいと思っています。応援いただいた皆様、スポンサーの皆様大変ありがとうございました。



'98ミラージュ・カップ東北シリーズ

順位	ドライバー	ポイント					合計
		第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	
1	高橋しげる	15	15	15	15	15	75
2	エド・ムラサキ	12	9	12	1	12	46
3	七海幸裕	6	12	9	6	3	36
4	阿部修司	9	5	4	12	1	31
5	女鹿義和	7	7	7	1	7	29

'98ミラージュ・カープラザカップ・シリーズ第5戦

CMSC 山形

エド・ムラサキ選手、荒天の富士で初優勝!シリーズチャンピオンに輝く!

'98ミラージュ・カープラザカップ・シリーズ第5戦が10月17日(土)・18日(日)富士スピードウェイで開催されました。台風の影響で、雨・風ともに強い荒れたコンディション。今シーズン、ミラージュ・カープラザカップ・シリーズとミラージュカップ・東北シリーズに参戦し続け、2シリーズとも常に上位争いを続けるエド・ムラサキ選手は、予選でポールポジションを獲得。エド・ムラサキ選手は、好スタートでトップをキープ。中盤7周目までに追いかける選手が次々とコースアウトする中、快走を続けて独走状態。最後は2位を約15秒離してのポール・トゥ・ウィン。シリーズ初優勝を飾り、シリーズポイントもトップ浮上ということになりました。エド・ムラサキ選手は「なぜだかわからないけど、雨のときは速いんですよ。」との感想を語ってくれました。

そして最終戦、こちらは台風の影響で決勝(8月30日)が順延となり、11月7日(土)に富士スピードウェイで開催されました。天候は曇り、コースコンディションはドライ。2番グリッドからのスタートとなったエド・ムラサキ選手は、ここで2位に入ればシリーズチャンピオン確定です。レースは、ポールポジションの久保選手とエド・ムラサキ選手を含め4台での接近バトル。一時、エド・ムラサキ選手は3番手に後退しますがファイナルラップで再び2番手を奪い返し、そのままチェッカーフラッグ。エド・ムラサキ選手にとって初のシリーズチャンピオンを見事手にすることができました。

エド・ムラサキ選手からのコメント

1998年は色々な意味でたくさんの新しい経験をしました。初めて走ったサーキットで得たものもたくさんありましたし、マシンセッティングもスリックタイヤも初めての経験だったので一つ一つがとても勉強になり、本当に自分のなかに得たものがたくさんありました。反省としては、カープラザではチャンピオンを取れたのですが、東北シリーズでは1勝もできないままシリーズ2位になってしまった



カープラザカップ初勝利を挙げたCMSC山形・エド・ムラサキ選手の走りと、シリーズチャンピオン決定の笑顔。

ことで、僕自身の未熟さを痛感しています。しかし、北のサーキットは僕に新たな緊張感を与えてくれました。レース全体で考えると、マシンのアドバンテージがあったのですが、完全にそれを活かさきって走れていなかったのもまだまだ勉強することがたくさんあると思っています。今年得た経験をこれからもっと積み重ねたい意味も含めて、来年はインターカップに挑戦していきたいと考えています。

'98ミラージュ・カープラザカップ・シリーズ

順位	ドライバー	ポイント					合計
		第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	
1	エド・ムラサキ	7	6	12	12	15	52
2	久保 悟	15	7	9	15	0	46
3	新井 薫	12	9	15	6	0	42
4	横尾英則	1	3	7	7	12	30
5	中島千絵	2	15	1	0	5	23

'98全日本ラリー選手権 (4輪駆動部門)

CMSC 道北

鎌田豊選手最終戦も制して、シリーズチャンピオンに花をそえる!



無敵の強さを見せつけたCMSC道北・鎌田選手のCC4A。

CMSC道北・鎌田豊選手 '98ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー ラリー部門も獲得!!

CMSC道北・鎌田豊選手は'98全日本ラリー選手権(4輪駆動部門)Bクラスに参戦し、全9戦中6勝しベスト5戦の有効ポイントでのパーフェクトチャンピオンを達成。'98ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤーラリー部門を受賞しました。'94年全日本ラリー選手権/Bクラスシリーズチャンピオンを獲得し初受賞以来、4年ぶり2度目の受賞となりました。



'98ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー受賞式での鎌田選手。

'98全日本ラリー選手権(4輪駆動部門)の最終戦「第26回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ'98」が10月17日(土)・18日(日)岐阜県高山市の南、岐阜県大野郡「飛騨位山スキー場」をスタート・ゴールにして行われました。天候は台風10号の影響で激しい風雨。SSは5本がキャンセルされ合計10本、SS総距離は予定の78.6kmから約41.8kmに短縮されました。Bクラスは最終戦の今回も参加車全車がミラージュ(CC4A)。前戦に今シーズン初のリタイヤをしたものの、今季5勝を挙げ、有効ポイントでのパーフェクトチャンピオンが決定しているCMSC道北の鎌田豊選手は、全てのSSでトップタイムを記録し、第1ステージ開始から第3ステージ終了まで一度もトップを明け渡さない完璧な勝利。無敵といった印象で、シリーズチャンピオンに花をそえる6勝目を挙げ、今シーズンを締めくくりました。2位には同じ道北の鷹野健太郎選手が入り、道北勢のワンツーフィニッシュという花丸つきの結果でした。

鎌田豊選手からのコメント

1998年はラリー形態が大きく変わり、全日本戦は2輪駆動と4輪駆動に分けられました。4輪駆動部門に出場するため、車両をCC4Aにしました。クロスミッション、エンジンと大幅なチューニングが可能になり、パワー不足と言われていたCC4Aも俄然速い車になりました。車の開発も先行してきたので、ライバルに大きな差をつけてチャンピオンになることができました。CC4Aはたしかに古い車ではありますが、とても性能の良い車ですよ。残念だったのは、勝てたラリーを落としてしまったこと。しかし、満足できる1年でした。

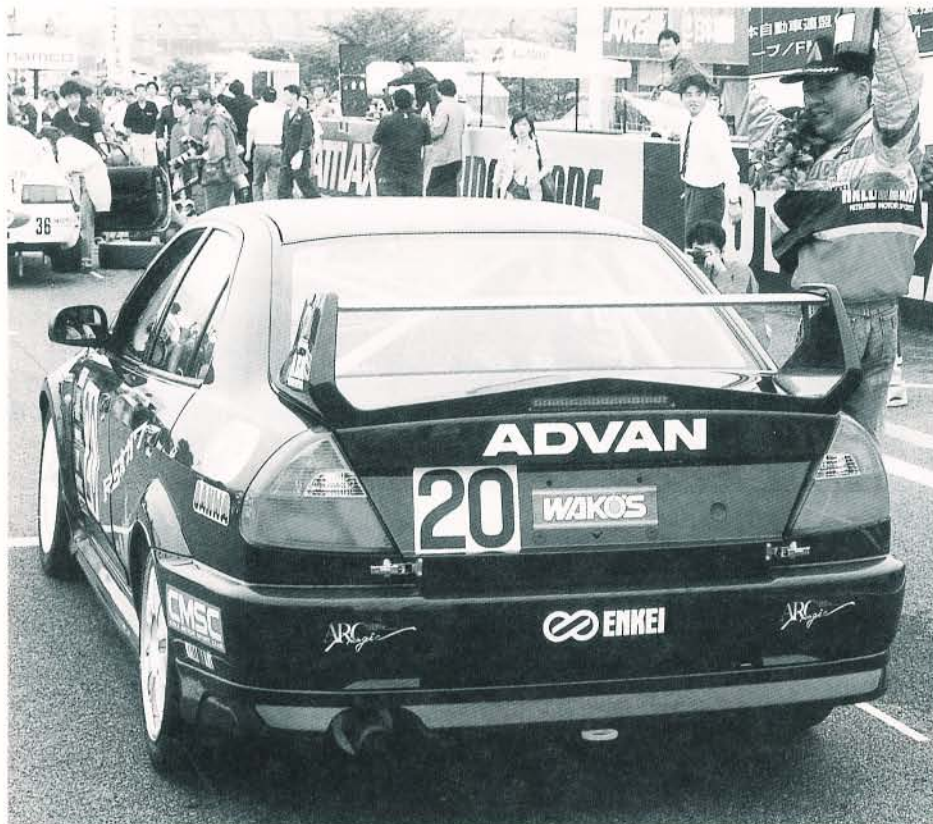
スポンサー各社、応援してくれた皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

スーパー耐久 シリーズ'98

CMSC
山形

CMSC
栃木

小川日出生選手組シリーズ2位獲得! 川口法行/添田正選手組、シリーズ9位!



シリーズ成績2位で今シーズンを終えたCMSC山形・小川選手とエボV。

スーパー耐久シリーズ98の最終戦が11月7・8日「富士スピードウェイ」で開催されました。クラス2では、山形の小川日出生選手組はランサー・エボリューションV勢が上位にひしめく中、一時3位まで順位をあげましたが4位、栃木の川口法行/添田正選手組は予選の順位をキープしての5位という結果で終了しました。これで、シリーズ順位も確定し小川日出生選手組はシリーズ2位と健闘。川口法行/添田正選手組も善戦し、シリーズ9位という1998年のシーズンでした。今年のシーズンではさらに活躍が期待されます。



上から川口選手、添田選手。



シリーズ善戦9位のCMSC栃木・川口/添田組エボV。

'98全日本ダートトライアル選手権 第8戦・第9戦レポート

第8戦

9月27日(日)に広島県高田郡「テクニクスステージカタ」で開催された第8戦、AIIクラスには30台が出走。CMSC岐阜の篠田大作選手が参戦し、第1ヒートでは4番手でしたが、第2ヒートで約3秒のタイム更新をし3位に入賞しました。

また、AIVクラスでは激しいトップタイムの応酬の中、こちらもCMSC岐阜の三枝光博選手が2位を獲得しました。一時はトップに立っていただけに惜しいレースでした。

CMSC岐阜
三枝光博選手
第8戦 2位



CMSC岐阜
篠田大作選手
第8戦 3位



CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第9戦 1位



※編集部注

藤原選手には厳しいJAFの裁定が下りましたが、その活躍は消えるものではありません。藤原選手からも「1999年は、心機一転再スタートしたいと思います。」とのコメントをいただきました。活躍を祈りたいと思います。

CMSC帯広

秋の大練習会

11月1日にシーズンを締めくくるダートラ練習会を開きました。今年の帯広地方は8月以降不順な天候が続き、今回も雨の中の練習会となりましたが、それにも関わらず集まった20人は泥で車が真っ黒になるまで走り込みました。それにしても会長が変わったとたんに練習会が全て雨とは…。でも練習会が終わるころには晴れてきたので、今年はきっと良いことがあるでしょう。(CMSC帯広 会長 中村洋次)



コトの連続コーナー

CMSC島根
古藤 浩美



ラリーの入賞者・参戦者

'98全日本ジムカーナ選手権シリーズ成績



CMSC埼玉
田口幸宏選手
全日本ラリー第9戦
2位

'98全日本ラリー選手権
シリーズ成績6位(Cクラス)

昨年10位から
今年はシリーズ6位に躍進。



CMSC鹿児島
山口修選手
WRC第13戦
オーストラリアラリー参戦

全日本ラリー選手権
シリーズ成績5位(Cクラス)

WRCオーストラリアラリー
参戦も、無念のリタイア。



CMSC青森
小館久選手
全日本ジムカーナ
CIIクラスシリーズ4位

昨年に引き続き
シリーズ上位をキープ。



CMSC広島
西日本ダートフェスティバル

5地区から167名参加。オフィシャルも100名で開催!

11月29日(日)テクニクスレージタカタにおいて、CMSC広島主催の「西日本ダートフェスティバル」を開催いたしました。一昨年は大雪、昨年は雨、やたらと天気が悪かった西日本ダートフェスティバル。天気予報が気になる……。しかし、今年は晴天! エントラントの皆様は日頃の行いの良さを感じながら開催した今回のイベントは、今年から中部地区も仲間入りし5地区の代表167名で行われました。

CMSCの各支部からも岐阜2名、大阪1名、島根2名、香川3名、そして広島から1名がエントリー。それぞれの支部からは応援に駆けつけて下さった方々も多くて、大変な盛況でした。

競技に入ってから、各選手白熱した走りを見せてくれました。特にベストタイムが連発した第2ヒートは興奮できる内容でした。我がCMSC広島の黒田真次選手は、当クラブからは唯一人のエントリーながら、AIVクラスで見事優勝を飾ってくれました。

当クラブは、Jr戦・地区戦の主催は経験有りますが、このような大きなイベントは初めてで、前日まではパニックでした。その為、JMRC中国広島支部の全面的な協力を頂き、当日のオフィシャルが何と100名強と、スペシャリストがそろい、スムーズな進行が行われたと思います。

来年は九州三井で行われる事も決まっており、CMSC各支部の皆さん多数で参加しましょう。

(CMSC広島 平原和幸)



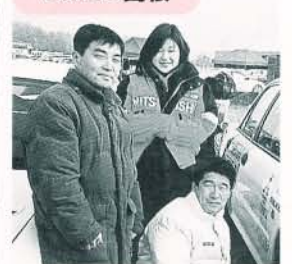
AIVクラス優勝、CMSC広島・黒田選手とその走り。

CMSC広島



競技も無事終了。大役、お疲れさまでした。

CMSC島根



三好工選手(AIV4位、左)、
国谷益雄選手(D5位、右)

CMSC大阪



朝野勝巳選手(CII15位、前列左)

CMSC香川



三木利夫選手(AIII6位、後列左から2人目)、
外山佳樹選手(AIII、後列右)、山本哲也選手(AIII、前列右)

CMSC岐阜



三枝重光選手(D2位、左から2人目)、針田信夫選手(CII6位、左から3人目)

'98JAFカップ オールスターダートトライアル CMSC出場選手成績

シーズン最後に日本一の座をかけて、速さとテクニックを競う'98JAFカップ オールスターダートトライアルが11月15日(日)栃木県黒磯市の丸和オートランド那須で開催されました。全日本選手権と地方選手権の3位以上の選手が154名参加、CMSCからは20名が参加、全国の強豪と争いました。

CMSCオールスター出場選手紹介

() はノミネートの'98シリーズ成績



CIIクラス/福島/鈴木正孝 15位 (B地区2位)



AIVクラス/岐阜/榎田正文 10位 (D地区1位)



LIIクラス/大阪/小出久実子 1位 (C地区)



AIVクラス/岐阜/三枝光博 2位 (D地区3位)



AIVクラス/福島/谷津良嗣 14位 (B地区3位)



LIIクラス/福島/佐藤幸子 7位 (B地区)



AIVクラス/群馬/荒井信介 3位 (C地区2位)



AIVクラス/広島/河内 渉 15位 (F地区2位)



LIIクラス/浜松/西川美佳 8位 (D地区)



AIVクラス/栃木/赤羽政幸 4位 (C地区1位)



AIVクラス/岩手/四戸岳也 17位 (B地区1位)



CIIクラス/岐阜/原 利之 7位 (D地区2位)



AIVクラス/山形/湯本 敬 7位 (C地区3位)



CIIIクラス/山形/八島功敏 5位 (B地区2位)



CIIクラス/広島/岩根つもる 10位 (F地区2位)



AIVクラス/大阪/吉村 修 6位 (E地区 1位)



Dクラス/群馬/古澤稔久 3位 (全日本3位)



CIIクラス/福島/大泉 剛 12位 (B地区3位)



AIVクラス/札幌/宝田芳浩 9位 (A地区2位)



Dクラス/大阪/秋間忠之 5位 (C地区2位)

